

2040 年に向けた高等学校教育改革について

1 国の動き

- (1) 高校教育改革に関する基本方針(グランドデザイン)の策定(令和8年2月) (参考資料1)
- (2) 高等学校教育改革促進基金の創設(令和7年度補正予算)
 - ・産業イノベーション人材育成等に資する高等学校等教育改革促進事業(令和8年度～令和10年度)
- (3) 「高等学校教育改革交付金(仮称)」の創設(予定)(令和9年度～)
- (4) 高等学校教育改革等推進事業債(仮称)等の創設(参考資料2)

→ 都道府県による「高等学校教育改革実行計画」の策定(令和8年度中に)

2 「産業イノベーション人材育成等に資する高等学校等教育改革促進事業」の申請について

(1) 事業概要

- ・2040年問題を見据えた産業人材や理系人材育成等のため改革先導拠点を創出
(3類型:①アドバンス・エッセンシャルワーカー育成、②理数系人材育成、③多様な教育機会の確保)
- ・事業費(補助基準額・国 10/10、R8～10年度)1県あたり62億円程度(申請上限額)

(2) 当事業の活用についての検討

- ・事業趣旨を踏まえ、本県が抱える課題の解決に向けて、最大限の効果が見込める取組
- ・学校のこれまでの取組・実施体制、地域の実情、県内での普及等
- ・学区撤廃後を含め、公立高校の在り方検討や今後の事業展開を見据えた取組

(3) 本県の教育・社会が目指す未来への展望(課題設定)

① 人材育成・地域経済のさらなる発展に向けて

- ・将来的な労働力確保とミスマッチの解消による、一人一人が輝ける適材適所の推進
- ・新たな価値を切り拓く人材の育成による、主要産業の強化と次世代産業の創出

② 高校教育・理数教育のさらなる充実に向けて

- ・専門高校の高度化・魅力化と理数教育の底上げによる、生徒の「学びたい」の実現
- ・デジタルの力を最大限に活かし、どこにいても質の高い学びを実現できる環境づくり

③ 若者の夢を地域でかなえる連携の強化

- ・地元企業で働くイメージの醸成と、若者が「ここで挑戦したい」と思える環境づくり
- ・大学・高専・企業・地域との連携による、地域全体で次世代を支え育てる仕組みの構築

④ 本事業で描く未来のグランドデザイン

- ・改革先導拠点を核とした教育内容の転換と新たな学びの確立
- ・教育・雇用・経済の好循環の創出による、持続可能な地域社会の実現
- ・地域の将来を支え、自ら未来を切り拓く人材の育成

(4) 申請に向けた検討等

- ・県教委と知事部局によるプロジェクト推進体制
- ・有識者や企業等へのヒアリングを通じた実務的な検討

(5) 申請スケジュール

- 令和8年5月15日 国への申請締切
- 令和8年6月下旬 国から採択発表(予定)